

生活科の基本原理

小学校低学年教育の在り方全体を視野に置き、小学校低学年の子供の発達上の特性や学校教育の基礎段階であることなどを踏まえ、低学年教育のねらいがより充実して達成できるようにするためには、教科を集約し再構成した方が適当である。



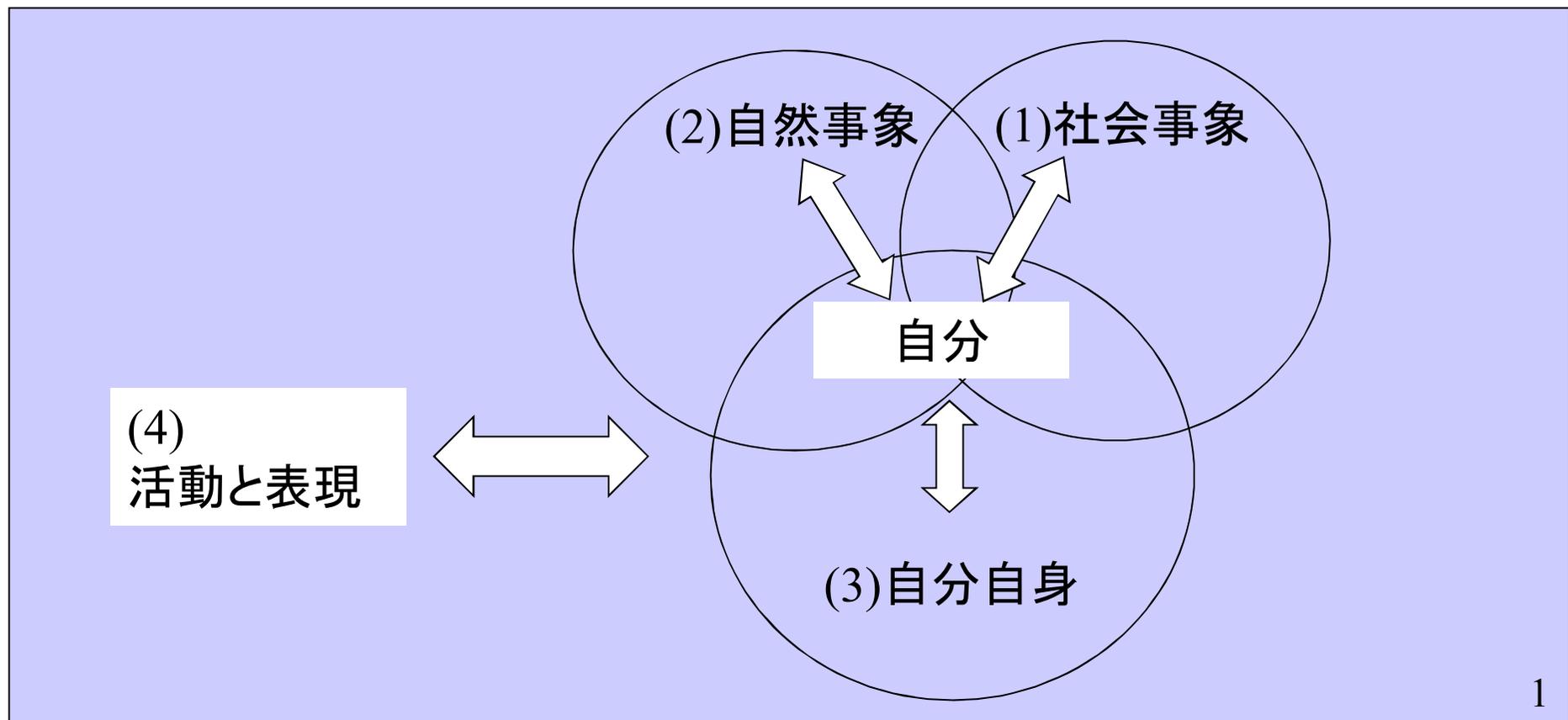
- ① 児童が自分たちとの関わりにおいて人々(社会)や自然を捉え、
- ② 児童の生活に即した様々な活動や体験を通して社会認識や自然認識の芽を育てるとともに、
- ③ そのような活動や体験を行う中において自己認識の基礎を培い、生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養う

(小学校低学年教育問題懇談会審議まとめ(昭和61年7月)より。)

生活科の学年目標の項目

- (1) 自分と人や社会とのかかわり (2) 自分と自然とのかかわり
(3) 自分自身 (4) 生活科特有の学び方(活動と表現)

生活科の学年目標の構造



生活科の学年目標の構成要素

基本的な視点(教科の基本的な構成原理)

- (1)自分と人や社会とのかかわり
- (2)自分と自然とのかかわり
- (3)自分自身

	学習対象等	思考・認識等	能力・態度等
(1)	■身近な人々及び地域の様々な場所、公共物など(かかわりに関心をもつ)	■地域のよさに気付く ■自分の役割や行動の仕方を考える	■愛着をもつ ■安全で適切な行動ができる
(2)	■身近な動物や植物などの自然(かかわりに関心をもつ)	■自然の素晴らしさに気付く	■自然を大切にする■遊びや生活を工夫する
(3)	■身近な人々、社会及び自然(かかわりを深める)	■自分のよさや可能性に気付く	■意欲と自信をもって生活する

生活科の内容構成の基本的な視点

- (1) 自分と人や社会とのかかわり
- (2) 自分と自然とのかかわり
- (3) 自分自身

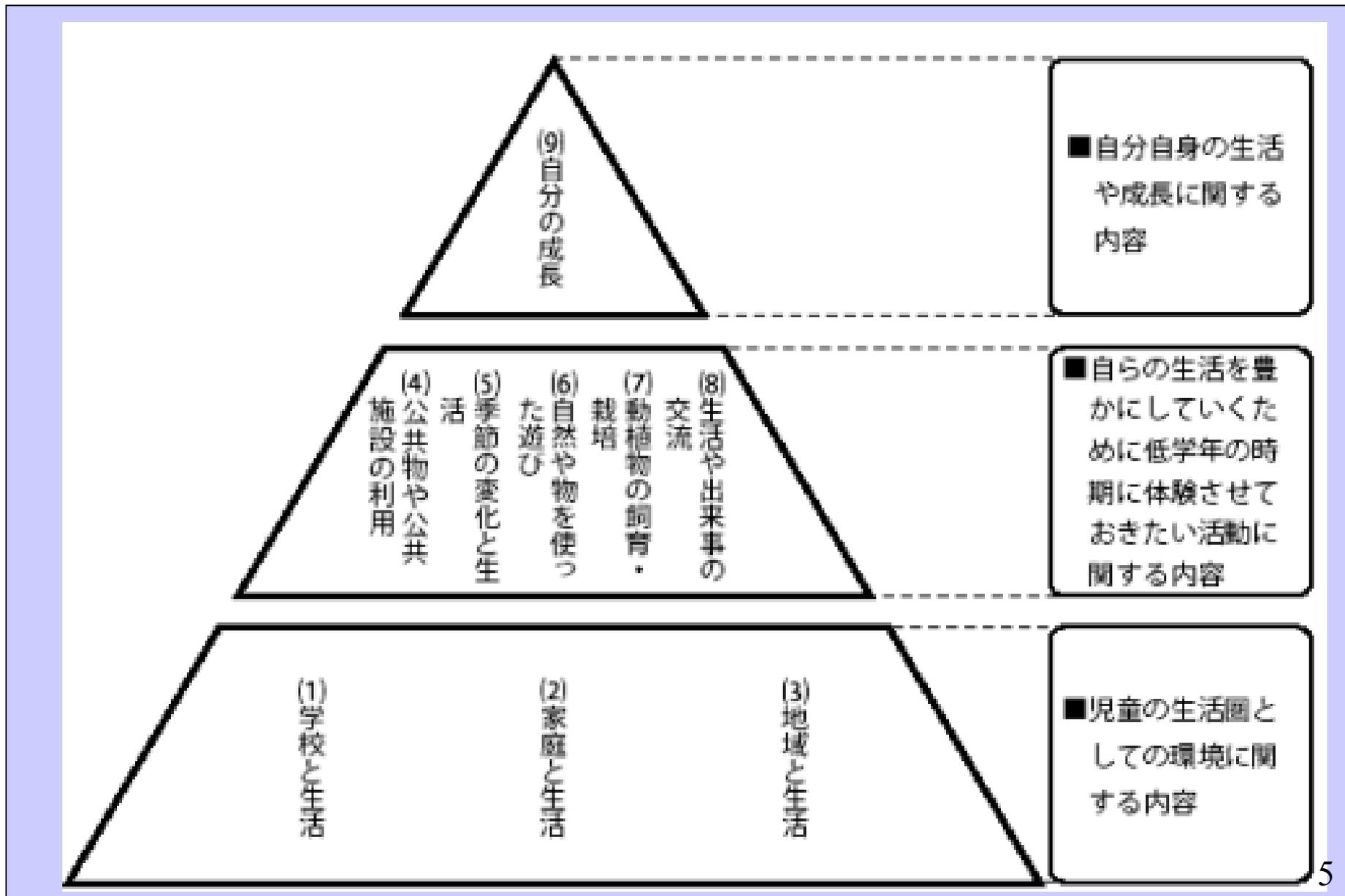
生活科の内容構成の具体的な視点

- | | |
|-----------------|--------------|
| ア 健康で安全な生活 | イ 身近な人々との接し方 |
| ウ 地域への愛着 | エ 公共の意識とマナー |
| オ 生産と消費 | カ 情報と交流 |
| キ 身近な自然との触れ合い | ク 時間と季節 |
| ケ 遊びの工夫 | コ 成長への喜び |
| サ 基本的な生活習慣や生活技能 | |

生活科の内容を構成する具体的な学習対象

- ①学校の施設
- ②学校で働く人
- ③友達
- ④通学路
- ⑤家族
- ⑥家庭
- ⑦地域で生活したり働いたりしている人
- ⑧公共物
- ⑨公共施設
- ⑩地域の行事・出来事
- ⑪身近な自然
- ⑫身近にある物
- ⑬動物
- ⑭植物
- ⑮自分のこと

現行学習指導要領における内容の階層性



(小学校学習指導要領解説 生活科編より)

現行学習指導要領における内容の全体構成

階層	内容	学習対象・学習活動等	思考・認識等	能力・態度等
児童の生活の場としての 地域に関する内容	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ■学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のこと分かる ■通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもつ 		<ul style="list-style-type: none"> ■楽しく安心して遊びや生活ができる ■安全な登下校ができる
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ■家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考える 		<ul style="list-style-type: none"> ■自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができる
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ■自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場面とかがわっていることが分かる 		<ul style="list-style-type: none"> ■それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができる
自らの生活を豊かにしていくために 低学年の時期に体験させておくための 活動に関する内容	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ■公共物や公共施設を利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ■身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ■それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができる
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ■身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどする 	<ul style="list-style-type: none"> ■四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ■自分たちの生活を工夫したり楽しんだりできる
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> ■身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ■その面白さや自然の不思議さに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ■みんなで遊びを楽しむことができる
	(7)	<ul style="list-style-type: none"> ■動物を飼ったり植物を育てたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ■それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ■生き物への親しみをもち、大切にすることができる
	(8)	<ul style="list-style-type: none"> ■自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ■身近な人々とかわるごとの楽しさが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ■進んで交流することができる
自分自身の生活や成長に関する内容	(9)	<ul style="list-style-type: none"> ■自分自身の成長を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ■多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ■これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができる